



004号(2011年3月30日)

目次

- 学会主催の1日コースのワークショップ(米子コンベンションセンター)報告
- 拡大理事会の開催
- 第8回全国大会について
- 協同学習ベーシックのワークショップの報告
- 近日行われるワークショップ<アドバンス>のお知らせ
- 出版情報

学会主催の1日コースのワークショップ(米子コンベンションセンター)報告

2月20日、鳥取県米子市の米子コンベンションセンターで学会主催の1日コースのワークショップを開きました。講師は有本高

尉さん。山陰は例年にない大雪だったのですが、この日はいい天気で、参加いただくには絶好の日和でした。秋田、熊本といった遠方からの方も多く、校種も小学校から大学まで、さまざまな方の参加を得ました。今回は前日に集まれる方で夕食を一緒にしました。盛り上がりました。

当日は、定員としていた32名を越えて、36名で進めました。香川から参加の公文洋さんから寄せていただいた感想です。

「はじめて参加しました。協同学習の考え方や技法はもちろんですが、雰囲気も素敵でした。グループでは、地元の先生方が県外の私を暖かく迎えてくれ、課題の解決を進めるごとに親密さが増していきました。地元の研修よりもアットホームなこの感じ

(笑)元気がでてくるワークショップでした。」

(研修担当理事 杉江修治)

拡大理事会の開催

3月7日・8日に千葉県南房総市で学会のJASCEの拡大理事会を開催しました。

関田、石田、杉江、安永、久保田、甲原、伏野の7名の理事に加え、第8回大会(千葉大学)実行委員長の上杉賢士先生にご参加いただいて、千葉大会の運営と研究発表について打合せしました。

また、「協同教育実践交流会」「協同教育カフェ」などの研修活動、会誌「協同と教育」の投稿規定の改定、ワークショップ:マスターコースの開催準備などについて協議を行いました。

協同学習ベーシックのワークショップの報告

2月27・28日の2日間、創価大学で認定ワークショップ:ベーシック・コースが開催され、伏野久美子・久保田秀明 認定講師が担当しました。(ウラ面に続く)



ワークショップの様子(米子コンベンションセンター)

JASCE

第8回全国大会について

プログラム枠のイメージが固まりました。大きくは個人発表／自主企画と大会企画の二つに分かれています。

様々な形式で会員相互の研究・実践報告や情報交流が行われます。

今回の大会企画はPBL(プロジェクト・ベース・ラーニング)がテーマです。大会初日(10月1日)午前の基調講演でPBLの考え方や実践が紹介されます。そして、午後の

前半では、千葉中学校のPBL中間発表会に実際に参加します。午後の後半では、発表会見学を受けての振り返りのセッションを設けます。大会2日目(10月2日)も枠組みは同じです。2日目の午後に、大会企画として記念講演を予定しています。

毎回大盛況の懇親会は10月1日(土)の17:30～19:30です。また、総会は10月2日(日)の11:40～13:00です。会員の皆様には、ご参

集をよろしく願います。

＜この大会で研究発表を希望される方＞

発表申し込みの受付は、4月から順次受け付けておりますので、詳しい内容は、ホームページ(www.jasce.jp)で必ずお確かめ下さい。なお、会場に限りがありますので、全ての申し込みをお受けできるとは限りません。なるべく早めにお申込みください。

●ワークショップ報告(つづき)

いつもは英語で協同学習のワークショップをしている伏野久美子先生(立教大学)が、今回はベーシックの講師役に初挑戦。他の講師の講義内容や提示資料を参考に、“伏野流”の素敵なワークショップを作り上げました。23名のご参加を得て、にぎやかで有意義なディスカッションの花が咲きました。

●近日行われるワークショップ

＜アドバンス＞のお知らせ

4月30日(土)、5月1日(日)の2日間、創価大学を会場に協同学習アドバンスレベルのワークショップを開きます。会場の都合で参加定員は16名となります。ご関心のある方は、お早めにお申込み下さい。

●出版情報

特別支援教育に携わる先生方、お待たせしました。本会会員の高野久美子先生と涌井恵先生が監訳した『子どものソーシャルスキルとピアサポート』(金剛出版)が出版されました。

アメリカでは特別支援教育に協同学習が様々に取り入れられています。この本でも、仲間同士の支え

合いを中心にした学習活動がいくつも紹介されています。アメリカとは事情が違う、という声も聞こえてきますが、様々な障害を持つ子どもたちと共に学び合う経験は、異文化共生の時代にあって、ますます大切になってくるでしょう。示唆に富む実践のヒントがきっと見つかる良書です。

